

代田まちづくりアンケート自由意見の概要

アンケート実施：2018年（平成30年）5月7日～26日

対象：代田1～6丁目地区居住世帯

回収結果：142票

※以下は、回収票142票のうち、自由記入意見(問2、問3、問7)を取り上げ、要約した上で町丁目別に仕分けし、課題別に分類したものです。



町丁目別の概況

	自由意見の概要
代田1丁目	1丁目では、防犯対策に関する意見が多い。 また、住宅地としての環境保全、北沢川緑道の大切さに関する意見等も多い。 全体として、静かで良好な住環境を評価し、将来にわたって保全していきたいとの意見が主体となっている。
代田2丁目	2丁目では、富士山の眺望を評価する声がかきわめて多い。 住環境に関しては「民泊」の問題の指摘が多い。 また、環七に関連する脇道、歩道の安全などの道路交通問題、自転車の危険性、商店街の衰退、住宅の密集に伴う防災上の不安、防犯問題など課題の指摘は多岐にわたっている。
代田3丁目	3丁目は、現在の良好な住環境が、敷地の細分化やアパートの増加、みどりの減少などで悪化すると危機感が目立つ傾向にある。 また、地域のコミュニケーションの低下についても他地区に較べて多く指摘されている。
代田4丁目	4丁目は、赤堤通りの危険、環七に関連する道路問題の指摘がかきわめて多い。 また、2丁目とともに富士山の眺望の大切さに関する指摘もかきわめて多い。 その他、ゴミ捨て、民泊、空き家などの住環境の問題、世田谷代田駅周辺の商店街の衰退の問題等も多く指摘されている。
代田5丁目	5丁目は、生活道路の安全、赤堤通りの駅付近の危険性、自転車のマナーなど道路・交通問題に関する指摘が多い。 また、空き家、民泊、ゴミ出しマナーなどの住環境の問題指摘も多い。 富士山の眺望の大切さに関する指摘もある。
代田6丁目	6丁目は、環七関連や地区内の生活道路の交通危険など道路に関する指摘が大変多い。 住環境に関しては、みどりの豊かさも含め、環境の良さの評価も高い一方、公園の少なさ、民泊・空き家・ゴミ出しなどの問題指摘もある。また、新代田駅周辺の買い物の不便さも指摘されている。
住所不明	※（住所に関する回答なし） 赤堤通りの危険、自転車のマナーの悪さなどの指摘が多い。 梅ヶ丘通りの狭さ(1・3丁目か)、新代田駅周辺の買い物の不便さ(5・6丁目か)